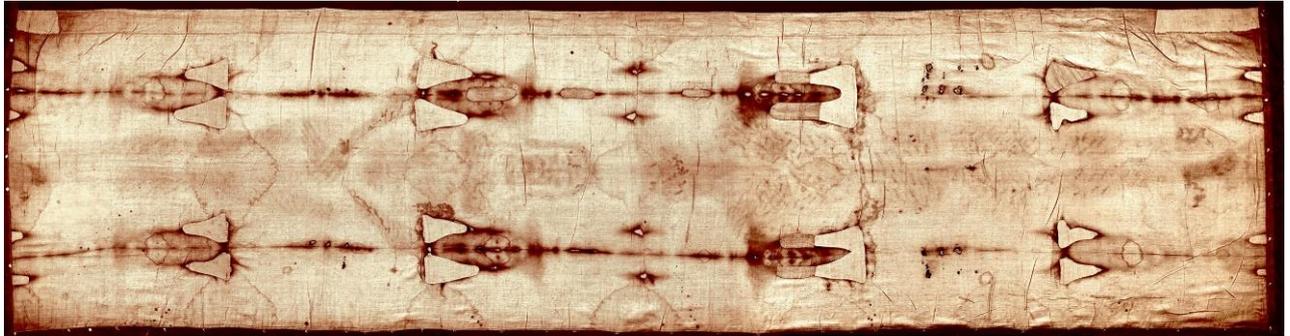


「信仰の薄い者たちよ」(2024.6.16)

イエスはすぐに手を伸ばして捕まえ、

「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われた。(マタイ 14:31)

ペトロは、湖上のイエス様に向かって舟から踏み出し歩きます。しかし、強い風に恐れ、沈みかけます。その時、イエス様はすぐに手を伸ばして捕まえ、「信仰の薄い者よ、なぜ疑ったのか」と言われます。イエス様一点を見つめていた目を、イエス様と強い風の両方に向けたのです。疑うとは二つのことに目を向けることです。



上の写真はトリノの聖骸布です。この亜麻布に映っている人物が誰か？本当にイエス様か？真偽論争がなされていて、本当の所は分かりません。しかし、この亜麻布に映し出された人物をよく見ると、聖書の記述とよく似ているのです。まず、頭部に、手首・足に、そして右胸に血痕があります。背中・太腿・胸には鞭で打たれたと思われる多数の傷があります。この聖骸布は、茨の冠をかぶせられ、手と足に釘打たれ、槍でわき腹を刺され、激しく鞭打たれたイエス様を示していることが痛いほど伝わってきます。

ですから、たとえこの聖骸布が偽物であっても、これを造った人は素晴らしい仕事をしたと言えます。これ以上ないという苦しみを味わわれたイエス様がここに証しされているからです。もし、そこに自分が受けるべき裁きを見るならば、信仰の薄い私でも「イエス様、すみません。有難うございます」そのように促されます。

イエス様は本当に慈しみ深いお方です。信仰の薄いペトロにそうであったように、信仰の薄い私たちに、食卓まで用意され、「このパンと杯を味わい、きれいさっぱり罪が赦されていることを信じなさい」と、励まし、驚くべき恵みを保証して下さるのです。なんと慈しみに満ちたお方でしょうか。このイエス様が私達の内にいて生きておられるのです！